

The GEMBA REPORT! [第3回]

その思いやりが「ものづくり」の現場を成功へ導く。
大切なのは、組みやすい足場ではなく、
作業しやすい足場を使うこと。



向井建設株式会社
向井 敏雄 会長
Toshio Mukai

明治41(1908)年に創業され、「鳶の名門」として知られている向井建設株式会社様。総合躯体工事のリーディング・カンパニーとして日本の建設業の中核を担われ、近年はゼネコンの東南アジア進出をサポートするために、ベトナム人の人材育成にも力を注がれています。向井建設様にはIqシステムにご興味を寄せいただき、昨年は説明会を開催する機会をいただきました。今回は向井敏雄会長にIqシステムの魅力やご期待をお伺いしました。

“Iqシステムのどのような点に、ご興味を持っていただいたのでしょうか？”

テレビCMがきっかけです。私はそそっかしいので、従来の足場では頭を思い切りぶつけることがあるんですよ。作業員の方々も慣れているとはいえ、そういうことはたびたびあると思います。そうした不便を感じていたので、CMを見た時「これだ！」と直感しました。足場内を支障なく大手を振って歩ける階高1900mmという規格は理想的だと思ったんです。

“説明をお聞きになって、どうお感じになりましたか。”

改めて、いい製品を開発されたな、と感じました。この足場なら作業員の方々は中腰にならなくて済み、過剰な労働から解放されると思います。もちろん、十分な階高が確保されていると安全にもつながります。



現在でも安全バトロールで足場に登ると仰る向井会長「月に3~4日でも腰を屈め首を傾げるのが苦しいのに、そこが毎日の作業場となる職人さんにとって足場の高さは目から鱗が落ちるような快適だと思いますよ。」(右は遠藤和彦社長)

ご存知の通り、これまで屈んで歩いたり作業をしたりしなければならなかつたせいで、筋交いの隙間から墜落して死亡するという痛ましい事故が起こっています。法令の改正によって墜落災害はかなり減りましたが、やはり不自然な姿勢での作業は効率が悪く、危険です。その点、Iqシステムは視点がいいと思いますよ。

“Iqシステムの実物をご覧になって、どのようにお感じになりましたか。”

身長160cmぐらいの人は、アンチを外すのに多少手間取っていたようですが、165cmぐらいの人なら苦にならない高さだと思いました。階高だけでなく、飛来落下災害を防ぐために隙間のない設計がなされている点、階段周りの手すりの取り付けが簡易化されている点などにも、非常にきめ細かい配慮を感じました。職人の話を聞きながら、職人のことも考えて開発された足場ですね。慣れれば作業効率は飛躍的に上がり、枠組足場はもう組めなくなるのではないかでしょうか。

Iq現場訪問
軽量化されているのもいいですね。材料が軽いと作業もしやすく、スピードも上がりますから。枠組足場と比べるとIqシステムは上げ下げがしやすく、運搬コストも安くつくよう設計されていますね。さらに、多様な足場が組みやすいのも大きなメリットだと感じています。枠組足場でできていたことがひと通りできるようになれば、皆さんも満足して使われるようになると期待しています。

“足場を組む際に重視していることは何ですか？”

足場を使う人たちが、使いやすいものを組むことです。足場に限らず、みんなが後工程を考えて作業をすれば、現場の生産性はまったく変わるはずです。今はそのような思いで足場を組んでいます。

しかし以前は、元請けが立てる施工計画図に基づいて施工していたので、実現が難しかった。元請けが立てる計画は経験工学に裏付けられていない場合があり、役所届け出のために作図されているものもあったからです。そうした計画図では足場が使いにくくなってしまうものもありました。長年、そのことに疑問を持っていたので、1980年代半ばに自社で計画・管理できる部門を立ち上げました。

弊社には長い歴史の中で培ったノウハウがありますし、全国で常時650~700箇所の現場を施工させてもらっていますから、ストックされている情報量は相当なもので、現在は、その膨大なデータを活用し、経験工学に基づいて施工計画を作っています。ですから、現場に最適な計画を立てることができます。これは向井建設の特長のひとつです。

プロフィール
向井建設株式会社
代表取締役会長
向井 敏雄 様

成城大学経済学部卒業後、
株式会社向井組に入社。
1980年向井建設株式会社
代表取締役社長、2009年同
社代表取締役会長に就任。
(社)日本鳶工業連合会 相
談役をはじめ、多くの建設関
連団体の役員として活躍。
建設大臣表彰、黄綬褒章など、
受章歴多数。





向井建設株式会社様・ 東京職長会様共催 第14回技能オリンピック会場にて、 Iqシステムの デモンストレーション実施

“「階高1900mmの規格は、組みばらしが大変で歩掛りが上がらない」というご意見もありますが、その点はどうお考えですか。”

実際、うちの職員からもそういう意見はあります。でも、不慣れな間は不便はしょうがないんです。それよりも大事なのは、やはり、現場の職人さんにとって快適な足場を組むことです。そうすれば、元請けは事故を防止できますし、全体の作業性も高まります。うちでは歩掛りが上がらなくても現場全体でプラスになればいい。そう考えています。

建設業界には、元請けと下請け、技術職と技能職に上下関係があり、それぞれが個々の立場を主張していたため、その調整に時間を費やしていました。しかし、「ものづくり」という視点では、みんなチームの一員です。ですから、お互いが協力し、足りない部分を補い合うことは大切だと思っています。

私は、現場の生産性を高めるためにも、このように物事の考え方や価値観を抜本的に変えていかなければならぬと考えています。そのため必要なのは、人間としての思いやり、相手に対する感謝の気持ちではないでしょうか。それがなければ、いくら生産性を高めようと意気込んでも効果は上がらないと考えています。

物事の全体を見て、自分ではなく、後工程を優先させる。その視点に立つと、Iqシステムは好ましい足場だと思います。

“ そのように評価していただき、
うれしく思います。
本日はありがとうございました。 ”

【取材を終えて】

「現場の後工程を優先する」仕事觀は、まさに「鳶の名門」と知られる企業のトップらしい信念だと感じました。そういう信念にIqシステムが共鳴できたのなら、これほど嬉しい評価はありません。



Iqシステムとリフトクライマーのコラボ

操作のために特別な資格を必要としない移動昇降式足場リフトクライマー。

改修工事で特に大人気ですが、マストに沿って機械装置を上下させる構造上から、障害物のある現場では、まずその障害物の回避が必要となります。

この課題の解決に活躍するのがIqシステムです。

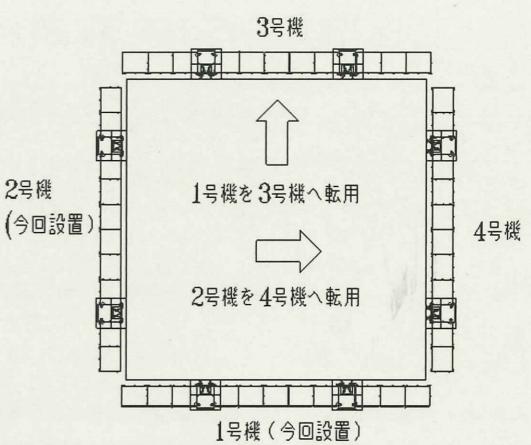
今回、煙突工事の現場でIqシステムとリフトクライマーのコラボが実現しました！

今回の工事例

- 現場名：金武火力1・2号機煙突塗装補修工事
- 住 所：沖縄県国頭郡金武町
- 元 請：沖縄プラント工業株式会社様
- 工 期：2か月
- 現場工事内容：煙突外壁工事（補修・塗装）

現場状況

- 使用機材：PW-35×2基（マスト高30m デッキ長17.8m）
- 設置場所と手順：1号機は地上より設置。
2号機はシングルの状態で煙道をかわし
その後にIqシステムでステージを作成。
リフトクライマーはステージ上で組立てる。



リフトクライマーとは？

マスト（1本または2本）に沿って、機械装置により昇降可能な移動昇降式足場。法規上、足場と同じ取り扱いになります。
『ラックピニオン』昇降機能を装着し、安全性・汎用性を確保。メンテナンスも容易です。

移動昇降式足場
リフトクライマー
NETIS登録番号 HK-120003-A

足場が動いて、
安心・安全・スピーディーに。
革新的な移動昇降式足場
『リフトクライマー』

